

事務事業名		防災対策避難路整備事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		土木課		事業種別	政策	開始	終了		
H28係等名		H28係等名 道路係		H27係等名		道路係			
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
		施策	41	災害対策の推進					
目的	対象(誰・何を)	指定の防災避難路。 避難路を使用して避難をする住民。				指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	避難道を拡幅し、スムーズに避難場所へ移動できるようにする。				路線数:路線		9	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)				対象市民数:人		101743	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)=1,191,519/1,748,969			67.2	68.1	75.4	-	
	定性目標								
事業概要	有事の際に地域住民が安全に避難場所へ避難することが出来るよう、指定避難路を地区に応じた整備をする。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 測量設計・用地補償・物件補償・工事施工 (1)市道伊賀良409号線(三尋石) (2)市道竜丘198号線(駄科) (3)市道千代15号線(法全寺) (4)市道1-39号母子ヶ谷線(鼎バイパス北) (5)市道松尾298号線(寺所) (6)市道1-37号中村久米線(久米) (7)市道1-73号尾林雲母線(宮沢) (8)市道下久堅84号線(小林作業道) (9)市道2-3号愛宕城下線(水の手)				1 事業実施路線数		1 9路線		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		38,047	123,175	109,184	142,114	(地)緊急防災・減災(充当率100%) (そ)繰越金 26→27 繰越明許費 26,874千円 27→28 繰越明許費 13,114千円			
国庫支出金									
県支出金									
起債		37,000	122,200	109,100	142,100				
その他		76	75	74					
一般財源		971	900	10	14				
人件費計(千円)②		4,398		0					
正規職員所要時間		1,230							
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		42,445	123,175	109,184	142,114				
事業内容・目標達成状況の振り返り	各路線において早期に効果が発現できるよう工夫をした。当初計画路線数より1路線を増やし用地取得を先行した。								
改革改善の考え方	①問題点	避難場所への避難路線には、未整備路線がまだ多く存在する。							
	②改革提案	整備が必要な路線を厳選し、集中して工事をする事で早期に効果を上げる。							